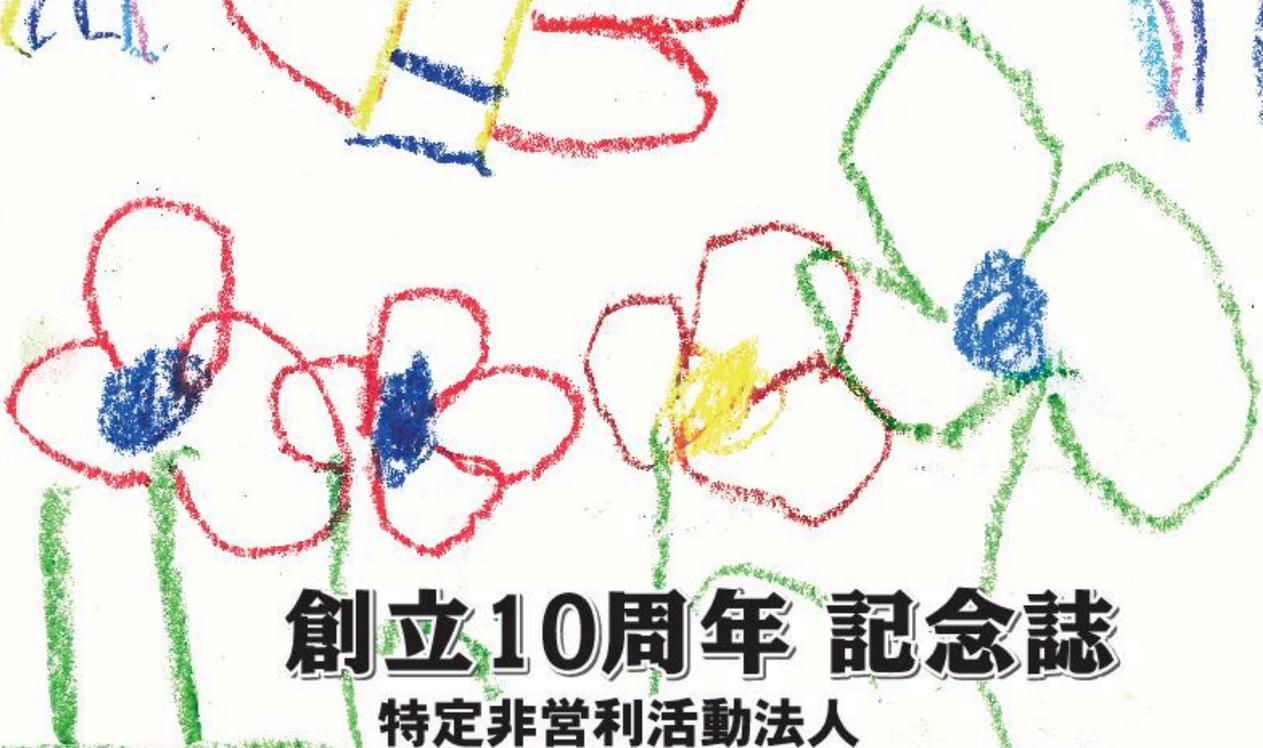


はなはな



創立10周年 記念誌

特定非営利活動法人

Ryouiku Circle はなはな

理 念

- 未来に繋げる
横(今の生活)と、縦(将来)を総合的に見て支援する。
- 家族の支援
家族に寄り添い、共感し、成長を喜び合う。
- 専門性で支える
ポジティブな経験ができる“居場所”であるために、その子の本来の姿やニーズを専門的に支える。
- 地域との懸け橋
人と人、家族と地域をつなぎ、豊かな生活に向かって共に歩む。

この理念は平成30年に職員全員で考案したものです。

目 次

理 念	3
ご あ い さ つ	: NPO法人Ryouiku Circleはなはな 理事長 前原利彦	6
祝 辞	: 愛泉会 日南病院 整形外科医 山口和正	7
	明昌会 福田病院 小児科医 田中美保	7
10年のあゆみ	8
組 織 図	10
施 設 紹 介	: きりしま子ども発達支援センター実樹	
	児童発達支援	12
	放課後等デイサービス	13
	きりしま総合発達支援センター	
	放課後等デイサービス わかば	14
	相談支援事業所 たんぼぼ	15
	保育所等訪問支援事業 つくし	16
	訪問看護ステーション めばえ	16
	重症心身障害児の児童発達支援、放課後等デイサービス つぼみ	17
	生活介護 いぶき	18
日 曜 療 育	: 農業体験	20
	リトミック	21
	絵画教室	22
	リトルスター	23
	ミュージックケア、スポーツ教室	24
	家族会	25
座 談 会	: 就園を控えた家族のための座談会	26
	就学前座談会	26
	小学校高学年・中学生・高校生の子どもの持つ保護者の座談会	26
連 携 会 議	: 幼稚園・保育所の先生方との連携会議	27
	小学校の先生方との連携会議	27
その他の取り組み	: (療育相談、療育等訪問支援事業)	28
研修会、学会発表	29
広 報 誌	: はなはなだより	30
助成金・補助金一覧	: 助成金に感謝	32
地 域 貢 献 活 動	33

10周年記念行事	10周年記念行事	34
	いぶきの利用者の方々の演奏会	35
	なつきさんの詩	36
	記念樹の植樹式	37
はなはな利用者の保護者からの声		38
編集後記		40



ごあいさつ

法人認証10周年を迎えて

Ryouiku Circleはなはな 理事長 前原利彦

「Ryouiku Circleはなはな」が平成21年4月に法人認証を受けて10年を迎えました。初めての記念誌の場をお借りして、法人設立と最初の事業所開設に至った経緯をお話ししてご挨拶の代わりと致します。

平成18年任意団体として活動を開始した頃、私は鹿屋市にある病院で理学療法士として小児と脳血管障害のリハに当たっていました。小児科の標榜はないものの、院長はりハスタッフの思いを汲んで、小児リハを進めて下さいました。

一方で、小児療育、小児リハに関して地域の民間病院が比較的大きな役割を果たす独特の環境、背景を持つ鹿児島県の中で、安定して小児療育を提供する術を暗中模索していました。大隅地域に療育センターを建設すべく、保護者の皆さん、福祉・医療関係の皆さん、友人まで署名活動など、ご協力、ご相談、ご迷惑をおかけしながら活動したこともありましたが、資金面の問題で頓挫しました。

そんな中、当時の高山町（現、肝付町）にあった児童デイサービス（現、児童発達支援）の管理者から見せて頂いた資料に、今後児童デイサービスではより専門性を高め、個別療育も積極的に取り組んでいくことが書かれていました。その後、勤務先の院長に相談し、徐々に勤務を減らし、霧島市での児童デイサービス開所の準備を進めました。

そうして平成21年4月に法人認証、翌22年5月「きりしま子ども発達支援センター」の開所に至りました。多くの方が国分中央二丁目にあった「旧 きりしま子ども発達支援センター つぼみ」（国分小裏）が開所の地と思われていますが、実は最初の開所は隼人町内（うち）の地でした。スタッフ5名、開所は実質週2日、利用者数14名でした。

集団療育の必要性から平成24年1月に国分重久に「きりしま子ども発達支援センター わかば」を開所しました。その後、平成25年10月に国分郡田に「きりしま子ども発達支援センター」を移転し「きりしま子ども発達支援センター 実樹」と名称変更しました。同時に国分中央二丁目に「きりしま子ども発達支援センター つぼみ」を開所しました。

以降、「訪問看護ステーション めばえ」「生活介護事業 いぶき」「相談支援事業所 たんぼぼ」「保育所等訪問支援 つくし」がそれぞれ開所しました。平成30年度まではこれらの事業を4カ所の事業所で行っていましたが、平成31年4月に「きりしま総合発達支援センター」を新築、開所し、現在は「きりしま子ども発達支援センター 実樹」と二カ所でこれらの事業を運営するに至りました。

ここまで活動を支えて下さった利用者・保護者の皆さん、そして地域、行政、医療、福祉、教育関係の皆さん、理事・役員の皆さん、また何より日々研鑽にいとまのないスタッフの皆さん、心より感謝申し上げます。関係者の皆様には今後とも当法人の活動を暖かく見守って頂きますようお願い申し上げます。併せて、霧島市の子ども達、障がいをお持ちの方の発達と成長を手を携えて支えて参りましょう。

祝 辞



日南病院 整形外科 山口 和 正

はなはな法人化10周年おめでとうございます。

前原理事長の情熱にほだされて鹿児島に診察に来るようになって20年近くになるかと思います。

鹿児島は整肢園が廃止になり、それでなくても療育に関しても陸の孤島的な大隅半島では、肢体不自由児療育の拠点、或いは身近に通えるところがありませんでした。当時は宮崎の肢体不自由児施設に勤務しておりましたが、前原先生が鹿屋市の民間病院に勤務されておられたころ、誘われて鹿児島大隅半島の療育に関わるようになりました。長崎に転勤になってからも帰省の折細々と継続し、再び宮崎に戻ってからは、鹿屋と、そして「はなはな」を開設されてからは霧島とを掛け持ちでお伺いするようになりました。

前原先生の悠々として迫らぬ笑顔、なかなか受け入れることが難しい要求をもすんなりと認めさせる包容力とさりげない強力なリーダーシップで良い療育チームが出来ているなどと思います。スタッフの皆さんもよい働きをしておられます。何よりも労を厭わず笑顔で利用者・家族に接しておられる姿が素晴らしい。利用者・家族の方々も安心して通ってこられているようですし、私も新しい利用者の方々だけでなく、20年以上前に診ていた方々も継続的に診せて頂くことが出来ています。又今一番要望が多い発達障害に対する対応も、霧島の地元でできる場所があるというのは利用者にとっては有り難いことです。

これからも利用者・家族の、身近なところで、その時の困りごとに応じた事業を展開、発展されていかれることを期待しております。



福田病院 小児科 田 中 美 保

法人認証10周年おめでとうございます。理想の療育を迫られて来られて、ますます地域での役割と期待が大きくなってきているのを感じます。

はなはなに関わらせていただく中で、私は日々、自分の専門性と療育の中での役割は何なのかということを考えさせられまた反省もしつついろいろなことを学ぶ機会をいただいています。正直なところ、たまに私が鹿屋から来所させていただいたところで利用者の日常の様子を感じるなどできないので、普段から利用者さんと接しておられるセラピストや指導員の先生方が私の目と耳と手となってくださってそれを頼りに療育相談を実施しているという感じです。

医療機関での仕事の中では、今の時代になっても療育に関わる医師の数はとても少ないこともあり、自ら専門としてきた分野の中でもさらに特定の部分しか普段取り扱っていないのが現状ですが、はなはなにお邪魔するときには、もう少し幅広く目を向けて、極端に言えば昔のことを思い出しつつ仕事に当たり遅ればせながら帰ってから再度勉強するといった状況で、自分のためにはよい機会だなあと感じています。

法人という形になる前に積み重ねてこられたことがあり、法人になりこの10年間で新たな仲間も加わり、またこれから発展していられることと存じますが、目新しいことではなく目の前の利用者さんをしっかり大事にしながら丁寧で変わらない大切なことを追及していられる前原先生とRyouiku Circleはなはなのみなさまに私も療育について教えていただきながらやっていきたいと思っています。

名人芸に見えることを名人芸だと思わず、他の人が習得することができる技術に落とし込んで質の高い療育ができるようリーダーとして私たちを引っ張って行ってください。これからもご活躍を祈念いたします。

10年のあゆみ



2006年6月
(平成18年)

任意団体として個別療育事業開始

2009年4月
(平成21年)

特定非営利活動法人として認証
『特定非営利活動法人 Ryouiku Circle はなはな』

2010年5月21日
(平成22年)

『きりしま子ども発達支援センター』 開設
(障害者自立支援法に基づく児童デイサービス支援事業所)



2012年1月1日
(平成24年)

『きりしま子ども発達支援センター わかば』 開設
(児童発達支援事業所・放課後等デイサービス)



2013年10月1日
(平成25年)

きりしま子ども発達支援センターを移転し
『きりしま子ども発達支援センター 実樹』 開設



2013年10月1日
(平成25年)

『きりしま子ども発達支援センター つぼみ』 開設

2015年1月
(平成27年)
2月

『訪問看護ステーション めばえ』 開設

きりしま子ども発達支援センター実樹で
『生活介護事業 いぶき』 追加開設

3月

『相談支援事業所 たんぼぼ』 開設

2018年4月
(平成30年)

きりしま子ども発達支援センター実樹を、事業所から
児童発達支援センターに変更(定員30名に増員)
それに伴い、きりしま子ども発達支援センターわかばを閉鎖し、
そこへ生活介護事業いぶきを移転

『保育所等訪問支援事業 つくし』 開始

2019年4月
(平成31年)

『きりしま総合発達支援センター』 新築開設
放課後等デイサービスわかば、生活介護事業いぶき、
訪問看護ステーションめばえ、相談支援事業所たんぼぼ、
保育所等訪問支援事業つくしを
『きりしま総合発達支援センター』内へ移転
それに伴い、きりしま子ども発達支援センターつぼみを閉鎖

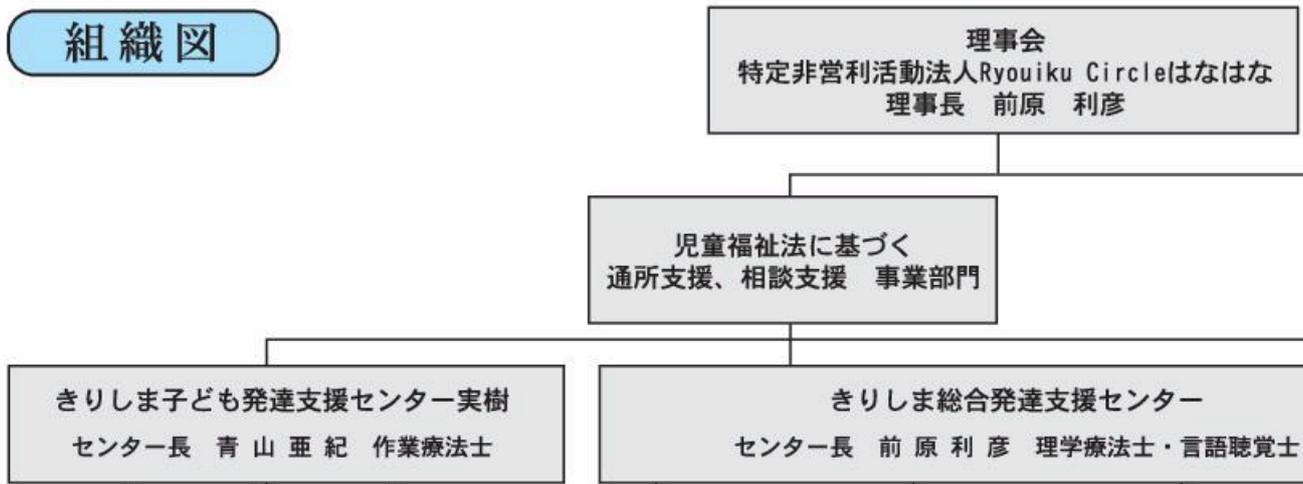


2019年10月1日
(令和元年)

きりしま総合発達支援センター内において
『主として重症心身障害児を通わせる児童発達支援、
放課後等デイサービス事業 つぼみ』を開始



組織図



放課後等デイ
事業部門

児童発達
支援センター

放課後等デイ事業部門
わかば

重症心身障がい児通所部門
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
つぼみ

保育所等訪問支援事業部門
つくし

放課後等デイ
事業部門



宮原智美 橋口美江 牧之瀬旭陽
(認定心理士) (作業療法士) (作業療法士)
山下茉奈美 甲斐千晴
(言語聴覚士) (言語聴覚士)

放課後等デイ事業部門
わかば



荒武眞美 砂田千春 松田絵里子
(言語聴覚士) (言語聴覚士) (保育士)
川野宏太 川東耕蔵
(作業療法士) (理学療法士)

重症心身障がい児通所部門
つぼみ



前原利彦 川東耕蔵 坂元宏樹
(理学療法士/言語聴覚士) (理学療法士) (理学療法士)
下水流美穂子 原口直美
(保育士) (看護師)

児童発達
支援センター



白川菜里 福元梨紗子 中村佳奈子
(理学療法士) (保育士) (作業療法士)
伊津野さとみ 青山亜紀 取違智美
(保育士) (作業療法士) (臨床心理士)

放課後等デイ事業部門
わかば



河野真紀 堀切翔太 吉田綾子
(言語聴覚士) (作業療法士) (臨床心理士)

保育所等訪問支援事業部門
つくし



橋口美江 戸村友香 堀切翔太
(作業療法士) (言語聴覚士) (作業療法士)

児童発達
支援センター

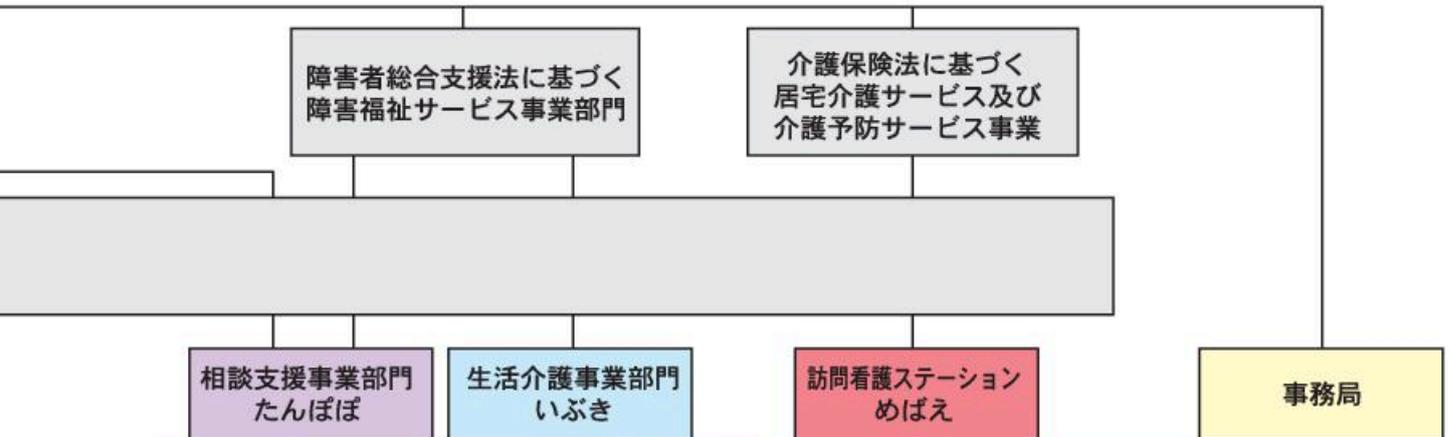


宮田知子 原田郁代 戸村友香
(作業療法士) (保育士) (言語聴覚士)
桑原あゆみ 中野綾子 平川里佳
(保育士) (理学療法士) (言語聴覚士)

給食



柴山克美 松本由紀子
(調理師) (調理師)



相談支援事業部門
たんぼぼ



水田ゆかり (児童指導員・教員) 三輪 優 (相談員・精神保健福祉士)
本村理佳 (相談支援専門員・保健師) 徳永祐治 (相談支援専門員・社会福祉士)

生活介護事業部門
いぶき



岡崎理恵 (看護師) 中山慶子 (保育士) 前原まゆみ (看護師)
前原次男 (生活支援員) 山崎有貴 (作業療法士) 田爪明日香 (看護師)

生活介護事業部門
いぶき



宇都由美 (看護師) 石原つぎ子 (看護師)
金澤枝梨香 (理学療法士) 山口みどり (生活指導員)

生活介護事業部門
いぶき



川東桃子 (理学療法士) 前田香奈 (生活支援員)

訪問看護ステーション
めばえ



岡村香桜理 (看護師) 有馬夕子 (看護師) 戸越益子 (看護師)
山下しろう子 (助産師) 徳留純子 (看護師) 衛藤ひとみ (看護師)

事務局



川畑征一郎 (事務局) 野口亜由美 (事務局・児童指導員)
林陽子 (事務局・保育士) 戸越益子 (事務局・准看護師)

きりしま子ども発達支援センター実樹

施設長 青山 亜紀

「きりしま子ども発達支援センター実樹」は平成25年10月に国分中央より移転、「きりしま子ども発達支援センター」より名称変更致しました。当初は、児童発達支援事業所として開所しましたが、平成30年に児童発達支援センターに事業変更を行い、放課後等デイサービスと共に多機能型事業所として運営を行っております。

私達は、一人一人の子どもに適した発達支援の提供を目標にしております。子ども達が人との関わりや活動を楽しんだり、難しい課題にチャレンジできるような安心できる居場所であると同時に、ご家族と子ども達の成長を喜び合える事業所でありたいと考えます。また、子ども園や学校との連携を図りながら、地域との懸け橋として家族と地域をつなぎ、豊かな生活に向かって歩んでいけるように努めて参ります。これからも職員一同、子ども達と共に成長できるように日々取り組んで参りたいと思います。

◆児童発達支援事業

0歳から6歳までの発達・発育・日常生活に不安を抱える子ども達に個別療育や小集団療育を月2回または週1回～2回程度行っています。個別療育では一対一で向き合い遊びや人との関りを持ちながら各職種のスタッフが主に機能面にアプローチしています。小集団療育では3～6人の同年代の他児と楽しく遊ぶ経験の中でやり取りを増やし、ルールに沿う・順番を守る等社会生活に必要な経験を積んでいけるようスタッフの丁寧な関わりのもとで行っています。また生活状況や悩み・ニーズを大事にしながら寄り添い一緒に考えサポートしていけるよう、家族支援にも力を入れています。

これからも関わる子ども達に生きる力の土台を作ってあげられるようスタッフ一丸となり発達支援に取り組んでいきます。



◆放課後等デイサービス

きりしま子ども発達支援センター実樹の放課後等デイサービスは、平成31年4月より支援の場を地域に移行できる体制に変更しました。これまで療育（個別や小集団）の中で身につけてきたスキルを、より実生活に近い場面（集団や学校・地域生活）で発揮できるような支援を行っています。

人との関わりを学び、自己肯定感を育む（小集団療育）

人との関わりや活動を通して、選択や決める力、人に相談する力など、他者と関わる上で大切なコミュニケーションや社会のルールなどを身につけます。

小さなチャレンジを重ねながら、自分に自信を持てるように子どもたちが自分を大切にする力や周囲と共感をしながら達成感を感じる力を育てていきます。



社会参加できる機会を作る

買い物や調理、余暇活動を通して経験の少なかった活動にも積極的に取り組めるようにサポートをしていきます。

また、将来の仕事のイメージ作りとして、就労見学なども行っています。



地域へ移行する（学校連携、保護者向けの学習会）

子どもたちが持っているスキルを、生活、地域の中で発揮出来るよう周囲の環境を整えていきます。

保護者向けの学習会を定期的で開催し、保護者同士の繋がりを広げるきっかけ作りもしています。



きりしま総合発達支援センター

副センター長 前原 まゆみ

「はなはな」が単人のテナントの一部屋から人との出会いが始まりました。一人一人の話に耳を傾けてきました。あれから10年たちスタッフの数も増え、スタッフの一人一人が利用者の笑顔のためにと、がんばっています。

きりしま総合発達支援センターでは、乳幼児からの訪問看護、放課後デイサービスでの就学児の支援、重度心身障がい者児童発達・放課後デイサービスの支援、保育所等訪問支援、生活介護による支援、相談支援などの事業を行っています。

これからも一人一人の生きがいを考えながら、生活の支援を行っていききたいと思います。

◆放課後等デイサービス わかば

きりしま総合発達支援センター放課後等デイサービスわかばは、平成31年度4月より事業開始となりました。就学児から18歳までの身体の機能や発達に不安を抱える子どもさんたちへ発達支援を行っています。一人一人の日常生活での困り感を探りながら、個別や小集団（2～4名）での療育を通し、強みを活かし、その子らしい生活を支えられるような支援を目指しています。日々、成長する子どもさん達と一緒に、「できた」達成感を私たちも共有し、子どもさんたちの目線で「やってみたい」と思える療育を提供できるよう心がけていきます。今後も多くの子どもさん達が、様々な人と関わりたいと思える場が広がっていくことを目標に継続的な発達支援を行っています。



◆特定相談支援事業所たんぼぼ

特定相談支援事業所たんぼぼが、指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援の事業実施のために開設したのが平成27年3月のことです。

たんぼぼは、はじめて療育や福祉サービスを利用する方、サービスの継続を希望する方が円滑にサービスを利用できるようお手伝いさせていただいています。

具体的には、ご本人やご家族が普段はどんな生活を送っていらっしゃるのか、生活の中でどのようなことを希望しているのかを教えていただき、それにはどのようなサービスや支援が必要なのかを一緒に考え、ご提案させていただいています。

地域の関係機関（行政、幼稚園、保育園、学校など）やサービス事業所とチームとして連携をとり、今の生活を支えるだけでなく、その方の将来に繋がる支援が提供されることを目指しています。

私たちは、利用者の願いや希望をたんぼぼのように根付かせ、可能性や才能を綿毛のように社会へ飛ばすようサポートできることを願っています。



◆保育所等訪問支援つくし

当法人での保育所等訪問支援事業は、きりしま子ども発達支援センター実樹で平成30年4月から開始しました。平成31年4月からは、事業所をきりしま総合発達支援センターへ移し、保育所等訪問支援事業「つくし」となっています。当事業所の保育所等訪問支援は、児童福祉法に基づき、訪問専門員が保育園・幼稚園・小学校・特別支援学校に訪問し、先生と相談しながら実際の生活の場で、どのように発達支援を促せるか検討し、アイデアを出し合いながら進めていっています。様々な場面で対象児の「つよみ」がより引き出され、安心して、意欲的に学習・活動に取り組める事を目指しています。開始したばかりでまだ手探りではありますが、地域に繋がる支援の一助となれるように、発達支援に取り組んでいきます。



◆訪問看護ステーション めばえ

訪問看護ステーション めばえは平成27年1月5日開設し6年目を迎えます。めばえは障害や病気を持ちながら在宅生活を送っている子どもたちの医療的なサポートや生活する上でお困りのことなどを支援し、子どもたちとそのご家族の想いをサポートすることを目指す“小児専門”の訪問看護ステーションです。

提供内容としては、

- ・状態観察／各種カテーテルの管理／在宅酸素療法／人工呼吸器などの医療機器管理
 - ・入浴、正式などの保清ケア／栄養についてのご相談
 - ・リハビリ指導（赤ちゃん体操、ベビーマッサージなど）／遊びを通しての発達支援
 - ・外出時の見守り（兄弟の行事など…）／育児、家族支援など
 - ・母乳育児支援 などになります。
- * 0歳から小児期に発症であれば成人の方も訪問いたします。



〈わたしたちの想い〉

“すべての子どもたちが家族の愛に包まれて、家族と同じ時間を刻んでほしい”

“家族の笑い声が聞こえるおうちで安心して過ごしてほしい”

私たちは子どもたちのかわいい笑顔の輪がひろがり、そしてずっと支えていきたい、そんな想いで日々活動をしております。子ども達の可能性を信じ、これからも毎日、訪問バックにたくさんの“夢”と“希望”をたくさんつめこんで訪問にお伺いさせていただきたいと思っております。

この場をおかりして、子どもたちやご家族の皆さま、多くのめばえに関わって下さった関係機関の皆さまのあたたかい支えを心より感謝し、お礼の言葉とさせて頂きたく存じます。

多くの幸せが実るようなステーションにしていけるよう邁進して参りますので、これからもめばえをよろしく願いいたします。



◆重症心身障がい児通所(児童発達支援、放課後等デイサービス) つぼみ

令和元年10月1日、「きりしま総合発達支援センター」の運用を開始して6ヶ月、重たい障がいを持つ子ども達の発達支援を行う「つぼみ」が満を持して開所しました。定員は児童発達支援と放課後等デイサービス合わせて5名になります。

正式には、「主として重症心身障がい児を通わせる児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能事業所」ということになります。平成24年度の法改正時にできた事業です。その当初から開所の計画を持ってはいましたが、スペース、スタッフなどの問題からこのタイミングでの開所となりました。

「つぼみ」では「社会活動」への参加、その支援、そしてそれらを子ども達、保護者、スタッフが認知（実感）できることを目標にしていきます。

令和元年10月から12月までの3ヶ月間は「クリスマスとお正月を楽しもう！」をテーマに活動しました。クリスマスパーティーの準備、お正月体験等を12回程度のセッションに分けてプログラムを作成し実践しました。製作活動、体験活動の中でビッグマックなどのコミュニケーション機器を使って友達を活動に誘ったり、必要な道具を借りに行ったり、パーティーに招待する社会活動に参加しました。どのくらい能動的な参加、支援、認知（実感）ができたかは毎回活動をビデオ撮影し確認します。はじめはなかなか参加を認知（実感）しづらかった子ども達も、繰り返し参加することで次第に参加を認知（実感）できるようになり、満足そうな笑顔を見せてくれることが増えていきます。

このような内容の発達支援は当法人としては初めてになります。各方面で先進的な知識を持つ方々に指導を頂き、試行錯誤しながら作り上げている状態です。これからの「つぼみ」の成長を暖かく見守って下さい。



◆生活介護 いぶき



みんなで外気浴

もうすぐ4年目に
突入
利用者とスタッフ一同
笑い声が絶えなず
利用者の頑張っている姿に
元気をもらっています。



仲良く演奏会



自分の生け花した花の前で

うまくすわれたよ!



新しいセンターに植樹





ふれあい活動で布バルーン

◆いぶきの1日のスケジュール◆

いぶきに来所

出勤のタイムカードで時間確認

- ・いぶきでの1日の始まり
- ・ふれあい活動や制作活動
- ・リハビリマネジメントに沿ったリハビリ
- ・日々の役割で活動
- ・昼食の前の口腔マッサージ
- ・昼食
- ・リラックスタイム
- ・リハビリやここの活動
- ・退勤のタイムカードで確認 自宅へ



ふくふくお話し会ボランティアグループの
絵本のおみきかせ



昼食風景



日 曜 療 育

◆農業体験

平成22年度より開始し、令和元年度で第10回目の実施です。

日頃の療育では体験できないことを経験し、本人の成長はもちろんのこと、家族間や家族同士の繋がりをより強めることを目的として毎年夏頃に行っています。ブルーベリー狩りを主として、絵画教室やリトミック、カレー作りやブルーベリーを使った調理体験、牛小屋見学など、年度によって様々な催しを開催してきました。様々な体験があるため子ども達の普段みられない表情や反応を発見することができます。



(ブルーベリーを摘んでいる様子)



(牛にえさをあげている様子)

初めてのブルーベリー狩りを楽しむ子、嬉しいけど恥ずかしそうにトラクターに乗る子、怖がりながらも頑張って牛にえさをあげる子等、日常ではあまり体験できないことに緊張しながらも、一生懸命取り組む子ども達の姿はとても素敵です。これからも継続して開催していき、多くの方が体験できる場を作っていきます。



◆リトミック

リトミックは、親子で音楽の世界に触れ、いろいろな表現を楽しみながら五感を働かせ楽しく体を動かす活動です。毎年2名の講師に依頼し、活動を通して心と体の発達を支援してきました。

活動は、ピアノのリズムに合わせて歩いたり走ったり…。親子で体をさわりながらのスキンシップや、楽器を触って音を奏でて音色を楽しんだり、身体を動かしたり…。音楽に合わせて絵を描くなど親子で経験できる内容になっています。

最初は緊張気味の子どもたちも不思議と音楽が流れると笑顔が見られ、リラックスして過ごす子が見られるようになりました。保護者の方々にも「普段触れない楽器に触れて喜んでいました。」「楽しく身体を動かすことが出来ました。」「回を重ねる毎に表情に変化を感じます。」等の嬉しい言葉も頂いています。これからも、音楽を通して何かしら各々が感じて、楽しい経験となってくれるような活動をしていきたい思います。



ロープに当たらない様に
上手に跳ぼう！
みんな張り切って上手に跳べたね。



お隣りへ、ハイ♪
お隣りへ、ハイ♪
リズムに合わせて上手に回そう



お母さんとのスキンシップ
嬉しいね♥



音楽聴きながらのお絵描き
楽しいね♪

◆ 絵画教室

はなはなでは、日曜療育で絵画教室を年5回程度行っています。絵画教室では、講師を依頼し、テーマを元に絵の具やクレヨンを使って絵を描くことで表現する事を楽しめるような活動です。絵を描く事や、イメージする事が苦手な子、手先の不器用さがある事で筆などの使い方が苦手な子、形を捉える事が苦手な子など、得意な子だけではなく苦手さを感じている子にも参加してもらうことで、自信に繋がったり、楽しさを感じてもらえるようにしています。

テーマに合わせて色々な色の絵の具を使用しながら、画用紙の上で色の変化を楽しむ子や、自分なりにアレンジしながら絵を描いていく子、時には手や足に絵の具をつけて紙にペタペタを付けていく子など1人1人の個性がみられます。毎回、子ども達の発想やアイデアがひかる世界に1枚だけの作品が出来上がります。



家族やお友達と一緒に
制作活動
何ができるか楽しみ～♪

絵の具を使って
色んな絵を描いたよ！



◆リトルスター

リトルスターは、小さく産まれた子と、その家族が集う会です。家族同士の交流や情報の共有などの場所の提供として、平成23年度の7月にはなはなのスタッフからの呼びかけで、第1回目が開催され、令和元年度11月現在で第23回目の開催を迎えました。

対象は、はなはなの利用者のみだけでなく、保健センターからの紹介など霧島市内外の未熟児で産まれたお子さんと御家族となっています。近年では、未熟児だけでなく、発達のゆっくりとしたお子さんなども対象となってきています。

座談会の他、活動の内容として、ミュージックケア・読み聞かせ教室や制作活動などの様々な活動も行ってきました。父親・母親とともに活動する中で、子どもたちも笑顔で楽しく活動をしています。座談会は、先輩お母さんの体験談や、保健師さん・スタッフを交え子ども達の成長や日頃の悩みについての語り合ったり、情報を交換する場にもなっています。



◆スポーツ教室

スポーツ教室は平成25年から今現在も実施しています。開始した当初は身体を動かすのが好きな子どもを対象に水泳教室や車いすバスケ体験会など行っていましたが。現在の対象は身体を使って遊ぶ機会がなかなかない、球技が苦手、そんな子ども達を対象に専門の講師のもと、楽しく身体を動かす機会になればとスポーツ教室を行っています。現在はスポーツ教室を月2回の実施で、例年5月から12月にかけて行っています。スポーツ教室の目的として、集団での運動を通しての健康維持や、成功体験の共有機会を経験できるよう活動を行っていき、後々は地域のクラブ活動等の社会参加へ繋ぐこととしています。

水泳教室



サーキット



◆ミュージックケア

「ミュージックケア」はクラシックや独自の音楽を用いて心身に心地よい刺激を与えながら集団で過ごすことにより持っている力を引き出す音楽療法です。

平成25年度よりミュージックケアの研修を受けたスタッフが中心となり月1回～2回程開催しています。

身体に触れたり、バルーン・しゃぼん玉・新聞紙・楽器（鳴子 パチ すず）等道具を使用したり、親子で触れ合いながら異年齢の他児との関わり皆で音楽を楽しんでいます。



◆家族会

はなはなでは、1年に1回程度、「家族会」と称しスタッフと利用者家族との食事会を行ってきました。家族会の歴史としては、平成23年度に母親と利用児を対象とした「お嬢さま会」を行い、24年度に父親と利用児と対象とした「お父ちゃん会」として夜の部で懇親会を行い利用者家族との交流会を行ってきました。また、25年度からは、夜の部に参加していただいた方のみならず、たくさんの方との交流が出来ればと考え、昼の部での開催をしました。昼の部では、参加の申し込みも増え、楽しいひと時を過ごすことができました。内容としては、食事を楽しみながら、スタッフ紹介・利用者家族紹介・カラオケ・スタッフによるダンス・マジックショーの余興を行うこともあり、子どもたちが一緒に踊ったり、歌を歌ったりして楽しんでいます。



令和元年度昼の部は、生活介護いぶき
を利用している御家族とスタッフで楽
しいランチ♪



夜の部は実樹・わかば・めばえを
利用している子ども達も一緒に♪
歌って踊って笑いの絶えない会に
なりました！

座 談 会

◆就園を控えた家族のための座談会

次年度に就園を予定されているお子さんを持つ保護者の方を対象とした座談会を、毎年秋頃に開催しています。

「園の生活に慣れるかな?」「園に入ったら療育はどのように続けるの?」など、様々な疑問や不安を抱えている方もいらっしゃる為、同じ悩みを持つ家族同士で気軽にお話する場を、と思い毎年企画しております。

実際就園されている先輩保護者の方々に、就園前・就園後の体験談を話して頂いたり保護者同士での意見交換を行っています。

就園を前にして初めてだらけで不安なご家族が、少しでも安心して就園を迎えられるよう今後も継続した取り組みを行っていきたいと思います。



◆就園前座談会

次年度に就学を控えたお子さんのいる保護者を対象に年に1回、就学についての勉強会・座談会を開催しています。勉強会では、霧島市教育委員会の先生より就学の流れや支援級・普通級・特別支援校の違いなどについて講話していただいたり、先輩保護者により就学時の心配事や入学してからの出来事などの体験談をお話していただいています。

先輩保護者を囲んでの座談会では、保護者同士が不安や悩みを話し合うことにより、「良かった」「とても安心した」「前向きに考えるきっかけとなった」「たくさん引き出しを作ることができた」との声が聞かれたりと良い交流の場となっているようです。



◆小学校高学年・中学生・高校生の子どもを持つ保護者の座談会

進学や就職に対する情報を知り見通しを持つこと、他の保護者と悩みや情報を共有し、保護者同士の繋がりを作ることを目的としています。

中学校の支援級の先生より、進学に向けて実際の学校現場での対応や考え方、国の制度(手帳や診断など)、通常学級と特別支援学級の違いについて講演して頂き、あいらいさ障害者就業・生活支援センターの方より就職までの流れや就職後の支援、企業が求める人材や企業に対する支援など、事例をふまえながら講演頂いています。

参加された保護者からは、「講演が分かりやすかった」「進学・就職についての基本的な情報を知ることができた」「座談会で他の保護者と繋がれて良かった」「同じ境遇の方と意見交換ができよかった」との意見を頂いております。今後も皆様のご要望やご意見を大切にしながら、年齢や状況に応じたお悩みに対応できるよう座談会を実施していきます。

連携会議

◆幼稚園・保育所の先生方との連携会議

地域との連携を密にしたいという思いのもと、平成26年から、一人一人の支援を共有するために、年1回、幼稚園・保育所の先生方と、園や療育の様子の情報交換や支援について話し合う機会を作っています。

療育で取り組んでいる支援や園の様子について話し合ったり、事前アンケートの質問に対して専門的にお答えしています。より具体的に支援方法をお伝えする事ができ、その子の情報や支援方法を共有する機会となっています。

今後も情報を共有することで、地域ぐるみでより良い支援ができるように心掛けていきます。



◆小学校の先生方との連携会議

はなはなでは、平成26年度から小学校との先生方との連携会議を行っています。

夏休みに先生方や相談支援事業所の担当者の方に集まって頂き、はなはなの概要説明や活動報告などをした後に、個別での連携会議を行い、療育での取り組みや学校での様子などについて情報交換をしています。

普段、あまり顔を合わせて話す機会のない先生方が事業所に来てくださることで、療育での様子や関わるスタッフの事を知って頂き、連携会議で情報共有をすることで、その後の連携・支援にも繋がりがやすく、毎年、貴重な時間となっています。

今後も、継続した連携を行い、一人ひとりの支援に繋げていきます。



その他の取り組み

◆療育相談

< 整形外科 >

身体的な問題についての相談や装具作成に対するアドバイスを頂くために実施しています。

療育相談担当医師は愛泉会日南病院 整形外科医 山口和正先生（当事業所嘱託医）が来てくださいます。対象は実樹・わかば・つぼみ・いぶき・めばえを利用している方となっております。頻度としては3回/年（3～4ヶ月に1回のペース）です。

< 小児科 >

福田病院小児科医の田中先生による療育相談を月1回程行っています。

保護者の希望でニーズや困り事を相談し、専門医からの具体的なアドバイスを頂くことで保護者の気持ちを軽くしたり生活や集団・療育に活かし、一緒に考え寄り添っていくことが目的でもあります。

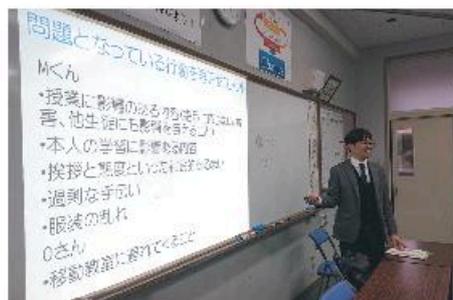
相談された保護者からは「話を聞いてもらいよかった。向き合い方が分かった」等、前向きな感想を多く頂いています。



◆障害児等療育支援事業

令和元年度より、当法人では鹿児島県子ども総合療育センターの委託事業である「障害児等療育支援事業」の委託を受けることとなりました。現在、鹿児島県では11の事業所がこの事業の委託をうけており、当法人は霧島市全域を担当しています。

この事業は自宅や学校、幼稚園・保育園、療育事業所などに、心理職やセラピスト等の専門家と訪問し、子どもや保護者、子どもに普段関わっている支援者とその子の「困り」を軽くする方法を一緒に考えていくものです。お力になれることがあればご活用ください。



研修会・学会発表

◆講演会・学習会

2006	はなはな解説記念療育講演会 「みんなが楽しく暮らせるまちづくり」
	イチゴクラブ学習会 重度心身障害児（者）の華麗な加齢のために
	療育講演会 「作業所で焼酎ができるまで」あなたの夢は私たちの夢
	療育研修会 「障害児の華麗な加齢のために」～整形外科医より～
2007	「障害のある子ども達の生活・学習支援」 基礎編
2008	「障害のある子ども達の生活・学習支援」 応用編
2009	「障害のある方の呼吸について考える」
2010	呼吸理学療法（呼吸介助手技による）とパーカッションアNICUから成人まで
	「脳性麻痺ガイドライン」ICF-CYと脳性麻痺の評価（GMFCS, GMFM, PEDI）」
	「重度障がい児の移動について考える」～移動と認知面の発達、移動手段～
2011	「障害のある方の呼吸について考える」呼吸理学療法（呼吸介助手技による）リフレッシュ
2012	鹿屋・霧島合同学習発表会
	音が広がる心つながる大地に響けコンサート
2013	映画上映「普通に生きる」
	理学療法支援とGMFCS
2014	小児療育研修会
	嚥下・ニューロリハ
	24時間姿勢ケア
2015	『SCERTSモデル』による自閉症への早期発達アセスメントと支援セミナー
2016	SCERTSエッセンス子育てセミナー
2017	症例検討及び呼吸介助研修会
2018	ボバース研修会
2019	保護者向け学習会

◆学会発表

	学会名	テーマ	発表者
2015	理学療法全国大会	スポーツ教室の取り組み	中野綾子
2016	鹿児島県作業療法学会	視覚支援を用いることで園生活が安定した症例について	橋口美江
2016	鹿児島県作業療法学会	LIFEとCOPMを用いた他職種でのアプローチ法を考える	堀切翔太
2017	CDSJapan四国・九州ブロック職員研修会	移行支援シートの取り組みについて	伊津野さとみ
2017	理学療法学会大会	一歳未満で当センターを利用開始した子どもの発達経過	矢田梨帆
2018	日本言語聴覚学会	療育機関における就学支援の取り組みと言語聴覚士の役割	大坪麻悠
2018	日本作業療法学会	就学時の連携について	宮田知子
2019	CDSJapan四国・九州ブロック職員研修会	当事業所での各専門職が協働した子どもたちへの関わり～SCERTSモデルを用いた支援を考える～	堀切翔太
2019	鹿児島県理学療法学会	1歳前後で当センターを利用開始した子どもの発達経過（第二報）	川東耕蔵

広 報 誌

◆はなはなだより

Ryouiku Circle はなはな の活動や、発達支援に関する情報を内外の皆さんと共有する目的で、広報誌「はなはな便り」を作成しています。

初回は、平成27年春。一年に4回と、時々号外も発行し、事業所内への掲示と、ホームページへの掲載を行っています。令和元年11月に発行したものが第19号となります。

内容は、はなはなの活動予定や、行事の報告などが主です。皆様に注目していただけるように、季節のイラストや写真を多く載せています。

これからも、利用者、保護者の皆様、関係者の皆様に楽しみにしていただけるような広報誌を定期的に発行します。



はなはな便り

保護者の集いを開催しました

6月11日、12日の2日間、毎年恒例の保護者集いの開催を行いました。今年も多くの保護者様にご参加いただき、大変盛況でした。保護者集いの内容は、園長先生による園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。



保護者集いの様子

これからの予定

- 6月15日 園長先生による園の活動報告
- 6月16日 保護者からの質問応答
- 6月17日 保護者同士の交流
- 6月18日 園長先生による園の活動報告
- 6月19日 保護者からの質問応答
- 6月20日 保護者同士の交流
- 6月21日 園長先生による園の活動報告
- 6月22日 保護者からの質問応答
- 6月23日 保護者同士の交流
- 6月24日 園長先生による園の活動報告
- 6月25日 保護者からの質問応答
- 6月26日 保護者同士の交流

園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。

樹木を育んでいます



9月10日、園長先生による園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。

園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。

はなはな便り

この日の場所

この日は、園長先生による園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。

年内の予定

- 6月15日 園長先生による園の活動報告
- 6月16日 保護者からの質問応答
- 6月17日 保護者同士の交流
- 6月18日 園長先生による園の活動報告
- 6月19日 保護者からの質問応答
- 6月20日 保護者同士の交流
- 6月21日 園長先生による園の活動報告
- 6月22日 保護者からの質問応答
- 6月23日 保護者同士の交流
- 6月24日 園長先生による園の活動報告
- 6月25日 保護者からの質問応答
- 6月26日 保護者同士の交流

新入園者講習



新入園者講習の様子

園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。

園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。

はなはな便り

きりしま総合福祉センター

6月15日、園長先生による園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。

10周年行事を開催しました

10周年行事は、園長先生による園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。



10周年行事の様子

おつきまつり

おつきまつりは、園長先生による園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。



おつきまつりの様子

清掃活動

清掃活動は、園長先生による園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。



清掃活動の様子

園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。

はなはな便り

新年原簿のあけつけ

新年原簿のあけつけは、園長先生による園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。

年間行事

- 6月15日 園長先生による園の活動報告
- 6月16日 保護者からの質問応答
- 6月17日 保護者同士の交流
- 6月18日 園長先生による園の活動報告
- 6月19日 保護者からの質問応答
- 6月20日 保護者同士の交流
- 6月21日 園長先生による園の活動報告
- 6月22日 保護者からの質問応答
- 6月23日 保護者同士の交流
- 6月24日 園長先生による園の活動報告
- 6月25日 保護者からの質問応答
- 6月26日 保護者同士の交流

園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。



2017年度報告会の様子

園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。

園の活動報告、保護者からの質問応答、保護者同士の交流などです。保護者集いの開催は、保護者同士の交流の場として大変重要です。今後も保護者集いの開催を継続してまいります。

補助金・助成金一覧

◆助成金に感謝

当法人では今まで数々の補助金、助成金を頂くことができました。総額4,307,360円になります。資金力に乏しい私たちの法人にとって送迎車や検査器具、電動車椅子などの発達支援に必要な高価な物品は容易く購入することはできません。また、財源の根拠のない講演会やコンサート、各種活動も簡単には開催できません。これまで頂いた補助金、助成金によって私たちの活動理念である「未来に繋げる」「家族の支援」「専門性で支える」「地域との懸け橋」は支えられています。

補助金、助成金は私たち NPO法人の運営を支える原資となるだけではありません。補助金、助成金の申請にはどうしてもその器具、活動が必要なのか、明確で合理的な目的、理由が不可欠です。申請が認められるということは、私たちの活動理念が理解してもらえたということでもあり、今後の活動意欲向上の糧にもなります。

これからも質の高い発達支援の提供や社会のニーズに沿った多彩な活動を展開していくために補助金、助成金を有効に活用していきたいと思っております。

年度	タイトル	団体	活用
21	平成21年度霧島市市民活動支援事業助成金概算払い	霧島市	「アート&アグリでmake confidence」
22	平成21年度霧島市市民活動支援事業助成金 (上記概算追加分)	霧島市	「アート&アグリでmake confidence」
	第7回九州ろうきんNPO助成金	九州労働金庫	ママコンサート ～いのちの海、おかあさんに贈る～
	地域福祉を支援する第22回「わかば基金」	NHK厚生文化事業団	電子ピアノ、音響機器、 セラピーマットの購入費用
	平成22年度霧島市市民活動支援事業助成金概算払い	霧島市	「アート&アグリでmake confidence」
23	障害児を育てる地域の支援体制整備事業	鹿児島県、霧島市	机4台、椅子6脚、パーテーション2
	平成22年度霧島市市民活動支援事業助成金 (上記概算追加分)	霧島市	「アート&アグリでmake confidence」
	丸紅基金福祉助成金	社会福祉法人丸紅基金 (丸紅株式会社)	発達評価のための検査用具の購入
	第31回社会福祉助成金	財団法人みずほ福祉助成財団	吸引器、パルスオキシメーター、 体温計、血圧計の購入費用
24	児童少年の健全育成助成	公益財団法人 日本生命財団	療育遊具一式 (トランポリン、ソフト積木等)
	日本中小企業福祉事業財団(日本フルハップ) 人間ドッグ助成	公益財団法人 日本中小企業福祉事業財団	
	鹿児島労働局		
25	鹿児島労働局		
	年賀寄付金配分	日本郵便株式会社	
	おぎゃー献金助成金	公益財団法人 日母おぎゃー献金基金	
	フルハップ 助成金	公益財団法人 日本中小企業福祉事業財団	
	平成25年度霧島市市民活動支援事業補助金	霧島市	発達に課題を抱える子どもたちに スポーツの楽しさを
26	災害防止助成金	公益財団法人 日本中小企業福祉事業財団	
	人間ドッグ助成金	公益財団法人 日本中小企業福祉事業財団	
	前川報恩会助成金	公益財団法人 前川報恩会	感覚統合訓練器具、音楽療法器材
	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン	イオン九州株式会社	療育活動に使用する 遊具や物品等の購入(キーボード)

年度	タイトル	団 体	活 用
27	平成26年度地域こども療育支援体制整備促進事業助成金	霧島市	
	鹿児島県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業 助成金 (鹿児島県生涯福祉課より)		
	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン	イオン九州株式会社	療育活動に使用する遊具や 物品等の購入 (いたずらBOX等)
28	特定求職者雇用開発助成金 第一期 (戸越)	鹿児島労働局	
	平成28年度 日社済社会福祉研修助成	公益財団法人 日本社会福祉弘済会	近代ホース概念小児領域8週間研修
	霧島市商工会議所		
	特定求職者雇用開発助成金 第2期 馬場 (鹿児島労働局)	鹿児島労働局	
	人間トック助成金 (日本フルラブ)	公益財団法人 日本中小企業福祉事業財団	
	年賀寄付金 (日本郵政株)	日本郵便株式会社	施設改修
	清水基金 交通費 戻し		
29	市民活動助成金 (霧島市地域政策課)	霧島市	スケッチツアー
	災害防止助成 (日本フルラブ)	公益財団法人 日本中小企業福祉事業財団	
	重度障害者の発達支援器材の購入事業	公益財団法人 原田積善会	
	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン		
	すこやか基金助成金	鹿児島県社会福祉協議会	バランス平均台・カシオ電子ピアノ
30	感覚統合療法器具助成金 (愛恵福祉支援財団)	公益財団法人 愛恵福祉支援財団	感覚統合療法に必要な器具購入
	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン		
	24時間テレビチャリティー福祉車両寄贈	公益社団法人24時間テレビ チャリティー委員会	送迎時間・負担の軽減、 ケア時間の延長

◆地域貢献

当法人は、周辺地域に感謝を込めて、地域貢献や地域の皆様との交流を目的として活動を実施しています。まず、地域貢献の一環として、

初回 H30年12月につぼみ・実樹周辺の清掃作業から開始し、令和元年度からは年数回、施設周辺の清掃作業・美化活動を定期的に行っています。

また、地域の小学校(北小学校)の『こども 110番の家』として令和元年度から当法人を登録しました。子供達が危険を感じた時や助けを求めてきた時には、子供を保護し学校・警察へ連絡する等、子供達が安心して登校でき、心の支えとなる場を目指しています。



はなはな 10周年記念行事

平成31年に法人認証10周年を迎えるはなはなの記念行事を3月2日に開催しました。新センター『きりしま総合発達支援センター』も同時期に完成したため、そのお披露目会も合わせて行いました。ハーバリウム・製作などの体験コーナーや、作品展示会、加治木養護学校の保護者による手芸品販売・麦の芽福祉会によるパンの販売、いぶきの利用者による楽器演奏会・詩集販売など、さまざまな催しを準備し、皆さんをお迎えしました。はなはなを利用して下さっている方々やその御家族だけでなく、お世話になっている相談支援事業所の方々や教育委員会の方々など、はなはたと繋がる沢山の方々に足を運んで頂き、改めて皆さんに支えられていることを実感できた1日となりました。



将来の自分の樹

はなはなを利用している子供達が花びらに将来の夢や好きな言葉を書き、大きな樹に花を咲かせました🌸

加治木養護学校の保護者による販売

一つ一つ手作りでかわいい〜♡



ハーバリウム体験コーナー

世界に一つだけの素敵なハーバリウムを作るぞ〜！



牛乳パック製作コーナー

竹とんぼ・かえるなどの自分で作って楽しく遊べる玩具作りを体験しました☆



◆いぶき利用者の方々の演奏会

10周年記念行事の中で、いぶきの利用者による演奏会を行いました。数ヶ月前から曲決めや楽器合わせをはじめ、毎日楽しく練習に取り組んできました。練習を重ねるにつれ、曲を覚えたり楽器を楽しめる様になり、時には楽器の取り合い?になることもありましたが、本番に向けてスタッフと利用者の方々の気持ちが一つになりました。当日はたくさんのお客さんを前に緊張した様子でしたが、いざ始まると演奏する喜びが溢れだし、毎日練習を頑張っていた成果が発揮でき、利用者の方々の自信に繋がりました。

今後も、年に一度は日曜療育の際に、保護者へ披露することを目標に、利用者の皆さん練習に励んでいます。



緊張する～！
でも
頑張るぞ！



ふるさと～♪



ドキドキ・・・
うまくあいさつ
できるかな？



素晴らしい
演奏だな～！



演奏会では、スタッフが利用者に寄り添い、視線を合わせて笑顔で接している姿を見て、利用者への愛情が感じられました。（アンケートより）

◆なつきさんの詩



皆さんに詩を読んでいただいて嬉しいです。
なつき



10周年記念行事の中で、生活介護いぶき・訪問看護めばえを利用されている、なつきさんは詩の発表を行いました。はなはな5周年の際に作った第1弾と、10周年記念行事に合わせて作られた第2弾の詩集の中から抜粋し、はなはなを利用している子ども達約40人に朗読してもらったものを、スライドショーで来場者へ公開しました。

詩に添えられている絵は、なつきさんの優しさあふれる詩のイメージに合わせ、あるスタッフが描いてくれたものです。なつきさんの詩の世界が更に広がり、来場して頂いた皆さんにも好評を頂きました。



子どもが詩の朗読に興味を持ち静かに聞いていました。
絵と詩の朗読のメッセージと子どもの朗読にとっても感動しました。
(アンケートより)



◆記念樹の植樹式

10周年記念行事と新センターのお披露目会が無事に終わり、保護者・スタッフ一同より記念樹が贈呈されました。平成31年3月31日、気持ちの良いお天気の中、ご利用者様も参加され植樹式が執り行われました。専門の方より樹の説明や植え方をお聞きし、一本一本をセンター長と一緒に大切に植えることができました。



重たいけど
がんばるぞ！



土をかけてっと！



センター長と
一緒に

よいしょ！
よいしょ！



🍀 これからも子ども達のために、私達 はなはなスタッフ一同、成長していきます🍀

はなはなのキャラクター 『はなちゃん』

はなはな利用者のお母様でもある宮元さんにデザインして頂きました。10周年記念行事において、キャラクター名を募集した所、複数回答のあった『はなちゃん』という名前に決まりました！応募して下さったみなさん、ありがとうございます♪
今後のはなちゃんの活躍をお楽しみに！！



はなはな利用者の保護者からの声

わかば利用者【藤田智子さん】

この度は10周年をお迎えになり、おめでとうございます。

いつも子ども達の為に御尽力いただいて、心から感謝しています。

毎回、親子で先生方にお会いできるのを楽しみに来ています。

小さい頃から通わせていただき、表情豊かで活発な子に成長中です。

これからもはなはなが楽しい時を過ごせる場であることを願っています。

実樹児発利用者【Tさん】

この度は10周年をお迎えされましたこと、誠におめでとうございます。

うちは2人の子が療育でお世話になっております。いつも温かく出迎えて、よくして下さる先生方のおかげで、子供達は出来る事が増え、学校や園生活を頑張っています。また、私が相談をさせて頂いても、親身になって的確なアドバイスを下さるので、何度も助けられてきました。イベントやセミナーなども充実されて、今までも良い刺激を頂いており、はなはなさんにはとても感謝しております。これからも、私たちとたくさんのご家族の拠り所であり下さる事を願い、ますますの発展とご活躍をお祈り致します。

実樹放デイ利用者【Tさん】

はなはなの開設10周年をお迎えになり、おめでとうございます。いつも子ども達のためにご尽力下さりまして、ありがとうございます。また、いろいろな情報提供をはじめ、子ども達や保護者のつながりの場となっていられることに感謝しています。

子どもがニコニコしながら、いつも療育の日を楽しみにしています。そのような中、学校に登校することができなくなり、子どもが精神的にかなり不安定になった時期がありました。もうここしかないとする思いでご相談しましたところ、時間を割いていただいて、子どもの気持ちを丁寧に受け止めていただき、落ち着きを取り戻す事ができました。一筋の光がさしたように見え、子ども共々に一番、感謝したい出来事でした。

今後も、子ども達が安心して過ごす事のできる居場所、また、保護者のつながりの場としても、あり続けて頂きたいと思います。皆様のご検討とますますのご発展をお祈りしています。



めばえ利用者【浜田亜紀子さん】

ダウン症の長男はもうすぐ5才。めばえさんのお付き合いも5年目になります。途中、実樹の先生にもお世話になりながら、びっくりするほどたくさんのお手伝いができるようになりました。長い入院を終えて初めて自宅に戻ったとき、幼稚園の入園を決めたとき、次男、三男を出産したとき、我が家の重大な決断をするときは、いつもめばえの皆さんに支えてもらっています。一人で育てなくていい、がんばらなくていいのだと思わせてくれるスタッフの皆さん、いつも本当にありがとうございます。これからも私のグチを聞き、悠慎の成長を一緒に見守ってください。



いぶき利用者【八塚さん】

10周年おめでとうございます！

前原先生との出会いは、あるお母様の紹介でした。今までのリハビリは泣く事が当たり前で初めて会う先生に緊張していましたが、本人の身体に合わせて声掛けのリハビリにととても安心していました。それ以降、前原先生大好きです！私もとても嬉しかったです。

先生はじめ沢山のスタッフとの関わりが大好きです。色々なイベントや医療的な事の助言は、とても助かっています。ハンディを持つ子の親にとって、はなはな（いぶき）は必要な場所です。これからも色々な相談に乗って欲しいです。本当にありがとうございます。



つぼみ利用者【福永まゆみさん（康人くん）】

はなはなさんには設立当初（それ以前）からお世話になっています。病院でのOTの利用に制約がかけられ始めた頃、霧島市で療育を受けられるようになったことは、とてもありがたいことでした。変化していく三男のその時々の状態に合わせてOTやPTを受けさせて頂きました。疾患の特性上、二次性徴と共に体の硬さやアンバランスさが現れ、自力歩行は困難になりましたが、それでもウォーカーや介助での歩行が維持できているのは、療育のお陰です。気付けばおもちゃでつらなくても訓練の目的を理解し行動出来るようになってきました。これも成長ですね。これからも子どもたちの成長に寄り添っていただけますように。





編集後記

この度、特定非営利活動法人Ryouiku Circle はなはなの法人認証10周年を迎えられたことを大変嬉しく思っています。

「10周年記念誌を発行したい」との前原センター長のひと言から発足したこの企画。指名を受けて集まったメンバーは「記念誌ってどんな事を載せるの?」と作る以前に分からない事も多く、内容を決めるまでに何度も会議を重ねました。過去の写真やデータがなかなか残っていなかったり、情報が不確かな部分もあったり、設定した締め切りまでに原稿が集まらなかったりと、作成の中で何度もハラハラする場面に遭遇しました。しかし各ページを作るに当たって、記念誌実行委員会のメンバーだけでなく、忙しい業務の合間を縫って下さったスタッフの頑張りや利用者の方々のご協力があり、無事に一つの形にすることができました。この記念誌の作成を通して、“はなはな”は私たちスタッフだけでなく、沢山の方々に支えられてこの10年を迎えられたのだと、改めて実感する事ができました。

最後になりましたが、この記念誌を作成するに当たりご協力頂いた全ての皆様に感謝申し上げます。

令和2年3月

QRコードを読みとると、
はなはなHPの“創立10周年 記念誌”を
見ることができます。



◆10周年記念誌実行委員会

橋口美江 伊津野さとみ 宮田知子 岡村香桜里 田爪明日香